

地方病院からの血液サンプル収集開始！  
(2020年2月5日)

2020年に入りました、今年もどうぞよろしくお願いいたします。プロジェクト活動は、11月のキックオフミーティングを経て、12月からはハノイ市内2つ、そして1月からはクアンニン省総合病院から HIV 感染者の血液サンプル収集が始まり、定期的なウイルス量検査が始まりました。その中で、ウイルス量の高い方にはそのウイルスが薬剤耐性ウイルスかどうかを調べるための遺伝子検査を行います。また、別途新規感染者（HIV ウイルスに感染してまだ ART 治療を始めていない方）の血液サンプルも集め、現状ベトナム北部で薬剤耐性ウイルスがどれくらい蔓延しているかも併せて調べていきます。



NHTD のラボにて分析、そして結果をネットワーク上に  
インプット



回収されたサンプルの分析結果をクアンニン省総合  
病院の医師にフィードバック

定期的なウイルス量検査は、現在の治療法、処方薬がきちんと効果を発揮しているかを検証するのにとても重要で、得られた分析結果はプロジェクト内で共有しているウェブ上のデータネットワークでタイムリーに地方病院にフィードバックされていきます。これにより、より早く臨床現場に情報が届き、適切な形に治療方針が修正されていくことを目指しています。

今回は街の様子を少し。ご存知の方も多いかもかもしれませんが、ベトナムのお正月は旧暦の「テト」。今年は西暦で言う1月25日がその日に当たりました。いつも大混雑のハノイの街中も、テト正月時期だけは、地方省の方が皆一斉に帰省するので、何とも静かになります。

街が華やぐひと時ではありましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で街にはマスクをつける人も多く、プロジェクトカウンターパートの国立熱帯病病院もベトナムにおける中央レベル感染症病院として最前線でその対策にあたっており、落ち着かない正月を過ごした方も多いと思います。今回血液サンプルを採取している病院でも隔離病棟を設置するなど対策に追われる姿が見られます。未知のウイルスに立ち向かう医師・医療関係者の皆様には、本当に敬意を表したいと思います！



テト正月に一年の幸運を願い初詣に来るハノイの人たち



一方、新型コロナウイルス感染対策で一部病棟が隔離病棟扱いになっています

というわけで、少し不安な年明けとはなりましたが、新型コロナウイルスによる被害と混乱が一刻も早く収まるよう祈りつつ。西暦の意味でも旧暦の意味でも、2020年もどうぞよろしくお願い致します！

以上